

科目名	国際公共政策 -EU を事例として-
担当者	福田耕治
配当学期	2011 年秋学期
単位	2 単位
授業概要	<p>グローバルな視点から、EU を事例として現代行政と国際公共政策を関係づけ、新たな国際制度の設計や国際公共政策の策定と実施について研究する。本科目では、環境エネルギー、開発、安全保障、人権保障、社会保障、保健・医療などの諸問題は地球規模の問題であると同時に、われわれの日常生活とも密接にかかわる、EU 公共政策にかかわる諸問題を取り上げる。環境エネルギー、開発、安全保障、人権保障、社会保障、保健・医療などの諸問題は地球規模の問題である公共政策にかかわる諸問題を取り上げたい。</p>
授業の到達目標	<p>地球規模課題の解決に果敢に取り組むことのできる人材の育成を目指す。国際公益の概念を把握し、国際機関、国と地方自治体の役割を考え、その実現方法をガバナンスの観点から理解する。</p>
授業計画	<p>初回は、ガイダンス—EU 国際公共政策とは何か</p> <p>2 回目以降、受講者と相談のうえ、各人がとりあげる EU 国際公共政策の報告を通じ、指導をおこなう。</p> <p>第 1 回：EU 国際公共政策とは何か</p> <p>第 2 回：地球環境エネルギー政策のガバナンスと国際行政</p> <p>第 3 回：EU 国際開発政策と貧困問題へのアプローチ</p> <p>第 4 回：EU 国際人権保障と国際社会保障政策</p> <p>第 5 回：EU 国際通貨・金融政策と国際行政</p> <p>第 6 回：EU 国際医療保健政策と国境を越える感染症</p> <p>第 7 回：EU 国際情報通信政策と国際行政</p> <p>第 8 回：EU 国際機構の移民・難民政策と国際行政</p> <p>第 9 回：EU 食の安全性確保政策と国際行政</p> <p>第 10 回：EU 国際公共政策過程と NGO の役割</p> <p>第 11 回：EU 国際科学技術政策とジェンダー</p> <p>第 12 回：EU 国際安全保障・平和構築政策と国際行政</p> <p>第 13 回：EU 社会福祉労働政策</p> <p>第 14 回：EU 国際保健・医療政策</p> <p>第 15 回：国際リスク・マネジメント政策</p>

教科書	福田耕治『国際行政学-国際公益と国際公共政策（改訂新版）』有斐閣 有斐閣（2011年）	
参考文献	福田耕治編『多元化するEU ガバナンス』早稲田大学出版部（2011年） 他、適宜紹介する。 福田耕治編『EU・欧州公共圏の形成と国際協力』成文堂（2010年） 福田耕治他『EU・医療専門職と患者の越境移動』文眞堂（2009年）	
成績評価方法		評価基準
	試験	報告 70%
	レポート	30 %
	平常点評価 %	
	その他 %	
関連 URL	http://europa.eu.int/ http://www.oecd.org/ http://www.unic.or.jp/	
備考		